

弘前市協働によるまちづくり推進審議会 会議録概要 (第5回)			
日 時	令和2年10月27日(火曜日) 18時00分～18時40分		
場 所	弘前市役所市民防災館3階防災会議室	傍聴者	2人
出席者 (18人)	委員 (13人)	佐藤会長、生島会長職務代理者、野口委員、秋元委員、小山委員、大西委員、安田委員、鴻野委員、大塚委員、斎藤委員、宇野委員、青山委員、柴委員	
	執行 機関 (5人)	市民協働課	高谷課長、竹内課長補佐、中村主幹、田澤主査、小山主事
会議概要			
1. 開会			
2. 議事			
答申案の検討・承認について			
【各委員の意見等】			
<p>会 長：今日の議題は、大きく2つからなっておりまして、1つは改善に向けた提案の修正案について、もう1つは答申案の全体についてご検討いただいて、答申案を完成させたいと思っております。それでは、早速ですが、改善に向けた提案の修正案につきまして、ご検討いただきたいと思います。答申の全体を綴ったものが、資料2にあります。8ページ以降を見やすく整理したのになりますので、比較しながら見ると見やすいかと思っております。皆さんからご意見をお伺いしたいと思います。何かご意見、ご提案はありますか。</p>			
<p>委 員：「5 学生のまちづくりへの参加」の(5)で、「アルバイトとしての参加や成果に対する報酬、交通費」とありますが、その「成果」という言葉が、単純に考えると、とても良い結果があったので報酬アップという意味にとられかねないので、「成果に対する」という言葉を取ってしまい、アルバイトとしての参加という形と、報酬や交通費という形にするとよいと思っております。</p>			
<p>会 長：なるほど。特別に報酬を出すみたいな意味合いにも受け取れると。</p>			

委員：読んだときには、そのように感じました。

会長：よろしいでしょうか。それでは、ただいまの案で「参加や報酬、交通費の支払いなどの対応も検討すること。」というふうに、「成果に対する」を削除することにしたいと思います。その他は、いかがでしょうか。意見が無いようでしたら、今の点を修正することをもって、改善に向けた提案の修正については審議を終え、ご了解いただいたとしてよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

次に、第2の議題であります。答申案の全体構成や内容について、何かお気づきの点ございましたら、ご意見いただければと思います。

委員：5ページの(3)地域マネジメント人材育成プログラム構築事業 ①まちなかキャンパスプロジェクトで、「10年後の弘前を引っ張っていく人材を育成するプログラム」のところの「引っ張っていく人材」という表現に違和感があります。例えば、10年後の弘前をリードするとか。ここを変えられないのであれば仕方がないですけど、「2 市全体の学生との関わりについて」と同じ内容を「弘前の将来を担う人材育成を図るもの」としてあるので、少し表現を工夫できないのかなと思いました。

会長：「引っ張っていく」という表現は、企画課の何かを引用しているのですか。

事務局：そうです。企画課が用意した資料を引用して作っていますが、委員がおっしゃったとおり、「リードする」や「担っていく人材」という形に統一したほうがいいかもしれません。

会長：(2)の弘前の将来を担う人材というところとつりあいがとれた形で修正したいと思います。何か適切な言葉はありますか。

委員：(2)と同じでいいと思います。10年後の弘前を引っ張っていくと言われますけど、「弘前の将来を担う人材を育成するプログラム」というとすっきりすると思います。

会 長：それでは、そのような文言で修正したいと思います。その他は、いかがでしょうか。

委 員：後半に参考資料が添付されていますが、これは私たちが審議会の中で提示されたものをそのまま反映させるのか、審議会で訂正や指摘があったものを修正したものを添付するのか、どちらなのかなと思いました。例えば 17 ページの 4「博物館実習生受け入れ」と 5「博物館学芸員実習受け入れ」は、同じ 1 つの事業としてやっているものだと指摘させていただきました。配られた資料をそのまま添付するのであれば、そのままでもいいと思いますが、実態に合わせて修正したものを載せるのであれば、こういうところを修正して載せていただいたほうがいいのかと思います。

会 長：今のご指摘もわかりますが、これは、我々が検討する際に、基となった資料としています。調査した資料は、全体を表現しているだろうということで載せさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委 員：はい。

会 長：その他は、よろしいでしょうか。それでは、全体の構成はこれでよろしいということで、続きまして、7 ページの取り組みの評価に入ります。我々が諮問を受けた事項について、改善案を出したということになりますが、このような総括の仕方によろしいでしょうか。

委 員：2 行目の「一層図られるよう工夫することなど」を正しくすると、「一層図られるよう工夫すべきことなど」となるのではないのでしょうか。

事務局：委員から「工夫することなど」という表現を「工夫すべきこと」にしたほうがいいとご提案いただきましたが、その後続く文章が「改善すべき点」というふうにこちらに「べき」が書かれており、ちょっと重複してしまうかなということがありますので、そこをもう一度お話しいただければと思います。

会 長：わかりました。いかがでしょうか。

委 員：重複じゃなくて、内容をはっきりさせるためには、むしろ「すべきこと」というのがなくてはいけない。「工夫すること」というのは、誰がどう工夫するのか、工夫しろと言っているのかが、はっきりしなくなると思う。

事務局：提案ですが、最初の「工夫すべき」のところを生かして、後半の「一部改善すべき点」を「改善点」ではいかがでしょうか。

委 員：むしろそのほうがいいですね。

会 長：そのほうがいいですね。それでは、「工夫すべきことなど、一部改善点は見受けられるものの」と修正させていただきます。委員もよろしいでしょうか。

委 員：はい。

会 長：続きまして、「2 条例の見直しについて」は、3 ページにある条文に沿って我々が検討したことで、この条文自体を修正訂正する必要があるか否やということです。こちらは無いということでよろしいでしょうか。それでは、この条例の見直しは認められませんでしたということで、お認めいただきまして、ありがとうございます。それでは、これで皆さまから活発なご議論はもとより、的確なご意見をいただいて立派な答申案を作ることができました。皆さまのお力だと思えます。心よりお礼申し上げます。

3 事務連絡

4 閉会